

八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証資料

<進捗の目安>

A：目標達成／B：目標には達しないが基準値を超える／C：AB以外／NA：その他（評価できない）

基本目標1 八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造

(基本的方向)

- (1) 八幡平市の豊かな自然の恵みを最大限に活かした、生きがい・創造の産業ブランドづくり
 (2) 豊かな自然の恵みを暮らしの豊かさに活かした八幡平市の地域産業やライフスタイル（生活様式）の継承
 (数値目標)

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
製造業製造品出荷額	3,000	千万円 百万円	2,735	2,828	3,438	3,256	B	A	A
指標項目の分析 [商工観光課]	東日本大震災による過去最大の落ち込みから回復基調が続いている。製造業従事者数も堅調に推移しており、人手不足を補うために製造効率を高める設備投資が活発に行われている。								

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
農業純生産額（H26 から農業総生産額）	6,295 5,000	百万円	6,121 4,862	公表無	公表無	公表無	NA	NA	NA
指標項目の分析 [農林課]	本指標は、平成 27 年度以降公表されていないため、評価、分析ができない。 指標以外では、農業産出額（推計）が農林水産省から発表されているが、これによると八幡平市の平成 26 年産農業産出額は 132 億 6 千万円、平成 27 年産は 130 億円、平成 28 年産は 135 億 1 千万円となっている。農産物の収穫は天候などに左右されるが、農家の高齢化や後継者不足の現状ではあるものの、農地集積等による効率化や高収益作物栽培への取り組みなどの担い手農家（中心経営体）の努力により、大きな変動もなく推移している。								

	<p>担い手農家への農地集積等が積極的に行われているが、その担い手農家自体の高齢化が進んでいる現状であるため、永続的な担い手農家の育成が課題となっている。</p> <p>※資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」（農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果）</p>
--	--

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
法人市民税額	210	百万円	194	190	204	202	C	B	B
指標項目の分析 [税務課]	<p>法人各々の事情が異なることから一般的な傾向を見出すのは困難であるが、収納、法人数、固定資産等のデータから分析すると、景気回復傾向から大企業の業績が伸び H28、H29 年度で税割収納が増額となっているが設備投資が進み、伸び率は鈍い。一方で、市内に多い 1 号法人（中小企業等）は景気回復の影響が少なく、さらに法人数が減少していることから減少傾向となっている。</p>								

基本目標2 八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る

(基本的方向)

- (1) ホスピタリティあふれる癒しと健康のリゾート拠点づくり
- (2) 自然の恵みの中でひとが輝く、心豊かに暮らせる故郷づくり

(数値目標)

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
観光入込客数	2,500	千人回	2,354	1,756	1,789	1,814	C	C	C
指標項目の分析 [商工観光課]	外国人観光客が年々増加しており観光入込数の増加要因となっている。一方で、冬期シーズンの入込数が横ばい傾向であり、全体的に国内観光客が減少傾向にあることから、目標値までには届いていない現状がある。 より一層の外国人観光客の増加と、国内観光客を増やしていくことが課題である。								

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
観光等宿泊者数	460	千人回	440	489	450	503	A	B	A
指標項目の分析 [商工観光課]	スキー場の利用など、国内観光客が減少傾向にある一方で、外国人観光客の来訪が年々増加していることにより全体宿泊者数の数値は増加傾向にある。修学旅行などの教育旅行による宿泊数も東日本大震災後の激減状態から、震災前の宿泊者数に回復してきたこともひとつの要因としてあげられる。 観光入込客数同様、国内観光客の継続した増加策が課題である。								

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
転入率（人口千人当たり）	24.00	人	20.57	18.76	19.31	19.00	C	C	C
指標項目の分析 [市民課]	目標値までは届かないが、今のところ大きな減少はみられず横ばいである。市内企業で働く外国人就労者が横ばいから増加傾向にあり、ひとつの要因となっている。								

基本目標3 八幡平市の地で緑を結び、次世代の成長と笑顔を育む

(基本的方向)

(1) 子どもたちや大都市等の若者・女性・子育て層が来て、住みたくなる定住促進の拠点づくり

(数値目標)

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
出生数	146	人	131	142	145	124	B	B	C
指標項目の分析 [市民課]	15歳～49歳の女性人口が減少していることなどにより、現状のままでは単年度ごとには増減が見られるが、中長期的には減少していくものと見込まれる。								

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
合計特殊出生率	1.46		1.31	1.40 1.24	1.41 1.40	未	B	B	NA
指標項目の分析 [市民課]	H27～28は1.4～1.41と目標に近づいているが、H29は下がる見込みである。15歳～49歳の女性人口の減少により、出生数が減少しても合計特殊出生率は大きく下がらないと見込まれる。								

基本目標4 各地域の元気を活かしたコンパクトなまちづくりにより持続性を高める

(基本的方向)

- (1) 拠点となる地域の活性化と連携強化によるコンパクトなまちづくり
- (2) 市民や地域が輝く、協働のまちづくりの推進
- (3) 地方創生を活かした八幡平市プロモーションの強化

(数値目標)

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
福祉ボランティア団体登録会員数	600	人	483	481	504	481	C	B	C
指標項目の分析 [地域福祉課]	目標値には届いてはいないが、人口減少が進む中でボランティア数は減少してはならず、活動量も同程度継続しているが、新規登録者の確保が課題である。								

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
NPO法人	13	団体	11	11	10	10	B	C	C
指標項目の分析 [地域振興課]	平成28年度に1団体減少となっているが、当該団体は設立申請をしたものの、活動を行わないまま解散したものであり、実質的な法人数は変わっていない。 今後、社会的な構造の変化や、市民ニーズの変化に伴い、新たなNPO法人が設立される場合には、市としてどのような支援が可能か検討する必要がある。								

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
コミュニティバス利用者数	52	千人	50	48.8	48.5	45.2	C	C	C
指標項目の分析 [地域振興課]	<p>常連の高齢客が利用者の大半を占めているため、人口の自然減が利用者数に大きく影響（減少）しており、減少傾向を止めるのは難しい。</p> <p>路線長と車両台数の関係から、1日の便数が少なく、自家用車からコミュニティバスへの転換が進みづらい状況にあることから、新規の利用者を増やすことができずにいる。</p> <p>高齢者の運転免許返納と併せ、自家用車から公共交通機関への転換を進めていくことが課題である。</p>								

指標項目	目標値	単位	基準値	実績			評価		
				27	28	29	27	28	29
乗車人員 JR花輪線市内有人駅1日当たり利用者数	339	人	339	329	298	300	C	C	C
指標項目の分析 [地域振興課]	<p>花輪線の主な利用層は通勤・通学利用であるが、少子高齢化による通学利用者の減少から鉄道利用は減少傾向にある。乗車人員の減少により、平成27年3月に盛岡駅-鹿角花輪駅間では減便（往復各1便）が行われ、日中に最大4時間程度の空白時間が生じている。</p> <p>インバウンドの個人旅行客の利用が増えているようだが、全体数に影響を与えるほどとはなっていない。観光利用を含めた花輪線の利用促進と路線バスやコミュニティバスなどの2次交通との乗り継ぎ利便性の向上が課題である。</p>								